

会議の概要

令和元年度 第4回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和元年9月6日（金）16:20～17:55

場 所：大玉中学校 被服室

（進行 大玉中学校教頭 早川 貢）

1 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 矢吹吉信）

みなさんお疲れさまです。只今より大玉中学校学校運営協議会並びに第4回コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。よろしくお願いします。

2 教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎）

- みなさんこんにちは。皆様には、授業参観とその後の分科会に参加していただきありがとうございました。
- 9月28日のおおたま・オータム・フェスタについてはCS委員の皆様にも十分に検討いただいた。現在最終調整中であり、心配なのは天候だけ。当日のご協力をよろしくお願いいたします。
- 安達地方小・中学校PTA研究大会が毎年開催されており、今年は8月4日（日）に本宮市白沢公民館で開催された。今回は玉井小学校田辺PTA会長（生涯学習課社会教育係長）が発表したの、了解を得てその資料を準備した。CSについて要領よくまとめられており、また、質疑や感想等が掲載されているので、ぜひ参考にさせていただきたい。
- 今日は大玉中学校学校運営協議会であり、5つの班に分かれてテーマ別に熟議をしていただく内容になっている。大玉中学校の課題や先生方が日頃考えていることについて皆さんの意見をお聞きし、学校運営・学校経営に反映させたいという考えであるので、ぜひ忌憚のない意見をいただきたい。大玉中の教育がよりよいものになるようよろしくお願いします。

3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ （おおたま学園CS委員会会長 伊藤 和弥）

- 先生方には、本日のオープンスクール（授業、分科会）本当にお疲れ様でした。CS委員の皆様もお忙しい中多数ご参加いただきありがとうございます。
- 先生方が他校の先生方と熱心に学び合っており、子どものために、どういうふうに指導したら分かりやすいのか、真剣に研究している姿に感心させられた。
- 今日は中学校の学校運営協議会であるが、熟議や様々な話を聞くことを通して、私たちそれぞれの担当校の学校評価の参考になればよいと考える。
- 明日本宮市CS推進フォーラムがあり、発表のため参加することになった。大玉村CSのPRをたくさんしてきたい。こういった協議会等で熟議を重ねているのがCSのよい所だと思う。
- 本日は時間が限られているが、最後までよろしくお願いします。

4 おおたま学園CS委員自己紹介

全員の自己紹介を行う。

教育長退席

5 協議

(進行 大玉中学校教頭)

(1) 令和元年度の学校運営について

(大玉中学校 校長 鈴木 豊)

(パワーポイントを使って説明)

- 最初の画面は、過去4年間のあだたら祭(文化祭)のビッグアートである。オープンスクールの要項表紙にも掲載しているが、これらは、生徒たちが考え、全校生で作上げたもの。現在も今年度のあだたら祭に向けて制作中だが、このように自分たちの手で主体的に文化祭を作っていくからこそ、自主性が育まれるのではないかと考える。「感動」「感激」「感謝」の3つを子どもたちに伝えることを大事にしている。



- 次に学校経営について説明したい。教育目標は「意欲をもって学ぶ生徒」「認め合い高め合う生徒」「自ら心身を鍛える生徒」の3つとなっている。目指す生徒の姿については、5月に説明した通りなので今回は略。3つの教育目標を達成するため学校運営の柱にしているのが、新学習指導要領で示されている「資質・能力の育成」である。本校の生徒が身につける必要がある資質・能力を「問題発見・解決能力」とし、主体的な学びを展開させることで育んでいく。「問題発見・解決能力」は初歩的な力なのだが、認知スキルだけでなく、非認知スキルを高めるのにも有効であると言われている。今年度の指導の重点全てに関わっていると言える。

○ 知育面「授業の充実と学力の向上」について

校内研修に力を入れ、教職員の指導力の向上を図っていきたいと考えている。

本年度の現職教育のテーマは、今年度から「自ら問題を発見し、解決に向けて主体的に取り組む生徒の育成」とし、新たな研究に取り組んでいる。現職教育のテーマに基づいて、7月に生徒を対象にアンケートをとった。「生活の中から課題を発見し、結果を予想しながら解決することは大事だと思いますか」の問に対して、ほとんどの生徒は肯定的に捉えている。また、「学習をまとめたり、振り返ったりすることは、次の課題につながると感じますか」という問に対しても「あてはまる」「ややあてはまる」と答えている生徒がほとんどである。これらの結果からも、生徒自身が「問題発見・解決能力」を身につけることが大切であると捉えていることが分かる。今後、全教職員で支援していきたいと考えている。

同じように、授業の充実に関しては、家庭学習の質の向上を図りたいと考えている。本校生徒は、全国学力・学習状況調査の質問紙調査結果によると、家庭学習への取り組み方については全国平均を上回っている。ただ、内容が充実しているかと言うと、そこまではいっていないのが現状である。そこで、内容の充実、つまり質の向上を図り、自己マネジメント力を育むために、県教委発行の「家庭学習スタンダード」と村発行の「学習習慣を身につけよう」を活用して授業を通してつなげていきたい。

○ 徳育面「人間性・社会性の育成」について

(総合的な学習の時間「農業学習(1年)」「職場体験学習(2年)」の映像を示しながら)

「体験から学ぶ」という言葉があるように、体験活動を充実させることで、キャリア教育の目標の一つである課題対応能力やキャリア対応能力を高めようと思っている。これまでに、伊藤C S会長さんや矢吹副会長さんに講師としてお世話になっており、感謝している。

また、情報マネジメント力の充実に努めたい。本校で実施したSNSに関する調査では、利用時間や人数、目的等について調べてみた。その結果分かったことは、ほとんどの生徒がインターネットに接続できる機器を持っているということで、その所有率は、中1が82%、中2が91%、中3が87%であった。この様な状況を踏まえて、今からは「SNSを使用させない」ではなく、

「適切な使用方法を身につけさせる必要がある」と考える。ぜひ家庭や地域と連携して情報活用能力を身に付けさせたいと思う。

○ **体育面「心身の健康増進と安全指導の充実」について**

今年度、郡山北警察署本宮分庁舎やＪＡと連携して、スタントマンの事故再現を取り入れた交通教室を実施した。生で見る事故の様子は緊迫感があり、生徒たちは改めて自転車による安全運転の大切さを認識したようである。安全意識の高揚と適切な判断力・行動力の育成を図っていききたいと考えている。

また、心身の健康増進の面では、体力の向上と肥満防止に力を入れていきたい。この映像は、今年８月に公表された中学３年生の全国体力・運動能力・運動習慣の調査結果だが、大玉中の生徒は、敏捷性、筋力、持久力の３つが課題であることが分かる。課題を受けて、体育授業における体力向上プログラムを作成し、個に応じた運動を取り入れるなど実践しているところである。

また、肥満の割合が高いという結果が出ている。特に１年生がピンチである。４月の定期健康診断の結果では、肥満度２０％以上の生徒３９名（１年：２１．３％、２年：１０．２％、３年：１２．７％）で総生徒数の１４．９％を占めている。全体的に肥満傾向の生徒が増加傾向にある。これらの改善を図っていくことが本校の課題である。体力の向上と肥満防止に関してだが、これは学校だけでできることではない。家庭や地域と連携しなければならないと思っている。

○ **村が目指す「地域と共に歩む学校づくり」「学校を域とした地域づくり」について**

この２つを推進するために、社会に開かれた教育課程を充実させていきたい。学校と地域がパートナーとして連携・協働することを目指して、生徒の地域貢献度を高めていきたいと考えている。

全国学力・学習状況調査の質問紙調査結果を見ると、大玉中の生徒は、これらに関連した項目の捉え方が県、全国の平均を大幅に上回っている。これは、本校生徒が地域とのつながりを実感しているからだと考えられる。１学期には、２回ほど本宮青年会議所とリンクして、ＳＤＧｓをもとにした大玉村未来デザイン事業を授業で実施した。また、生徒（希望者）が実行委員としてコミュニティ・フェスタ（８月３日〈土〉開催）に参画した。今後も、子どもたちが、このような様々な活動に積極的に参画することを通して、地域とのつながりを深め、自己有用感や肯定感を高めるとともに、村の将来を担う人材の育成に努めていきたいと考える。

- 以上本校の学校経営の概要について説明させていただいた。本校の課題（本年度重点事項）や柱となること（学校運営・経営の基盤）について、ＣＳ委員の皆様の考えや提言をお聞きしたいので、よろしくお願いします。

（２）グループ協議「本校の教育活動について」説明

（大玉中学校教頭）

大玉中学校の子どもたちの豊かな成長のため、学校と保護者や地域の皆さんにそれぞれの立場で“できること”“行いたいこと”“お願いしたいこと”等を出し合う。

【進め方】

グループ（１～４班）の協議題について

- ① 班にいる本校教員から、現状と課題、今年度の取組についての説明を聞く。
- ② 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいことをピンク付箋紙に、学校ができること・行いたいことを青付箋紙に書き出す。
- ③ ＫＪ法でそれぞれの考えを共有し、同じ内容についてまとめる。
- ④ できること、行いたいこと、お願いしたいことについて協議する。
→ について司会者が発表し、全体で共有する。

グループ（５班）の協議題について

- ① 班にいる本校教員から、現状と課題、今年度の取組についての説明を聞く。
- ② 子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を緑付箋紙に書き出す。

- ③ ②で書いた資質・能力を身に付けさせるために、
 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと、地域・家庭（保護者）にお願いしたいことをピンク付箋紙に、学校ができること・行いたいこと、学校にお願いしたいことを青付箋紙に書き出す。
- ④ KJ法でそれぞれの考えを共有し、同じ内容についてまとめる。
- ⑤ 資質・能力、できること、行いたいこと、お願いしたいことについて協議する。
 → ③について司会者が発表し、全体で共有する。

（３）グループ別協議（２５分間 ●重点事項）

- | | |
|-------------------|------------------|
| ● 授業の充実と学力の向上 | → １班 家庭学習の質の向上 |
| ● 人間性・社会性の育成 | → ２班 情報モラル教育の充実 |
| ● 心身の健康増進と安全指導の充実 | → ３班 体力の向上及び肥満防止 |
| ● 社会に開かれた教育課程 | → ４班 地域貢献度の向上 |
| ● 学校運営・経営の基盤 | → ５班 資質・能力の育成 |

（４）グループ別協議の発表・共有

① １班「家庭学習の質の向上」…

テーマ：家庭学習の質の向上～

「家庭学習スタンダード」「おおた
 ま家庭学習習慣を身に付けよう！」
 （学習の約束の活用）～

ア 地域・家庭（保護者）ができる
 こと・行いたいこと

- 家庭ではきっかけづくりが大切ではないか。家庭学習の内容を
 チェックしてみて、

- ・「どんな学習をしているの？」と声をかける
- ・たまにノートを見て褒める
- ・「こんなものがあるからどう？」と本を勧めて興味を持たせる
- ・英語検定、漢字検定等の受験を勧める
- ・たまには厳しく声をかけて励ます

等々してみてもどうか。

- 時間や場所の共有を図る … 子どもが学習しているときには、テレビを消して本や新聞を読む。また書店へ一緒に行ったする。
- 地域では、学習の場所の提供があればよい。

イ 学校ができること・行いたいこと

- 「授業の質の向上」 … 学校で頑張らねばならないこと。
- 「できること」 … 家庭学習の確認をすること（＝個にあった学習の確認）。学習方法（学び方）について情報提示する。
- 「連携すること」
 - ・教科担任と学級担任の連携 ～ 教科で学んだことを家庭学習で生かせるようにする。
 - ・学校と家庭の連携 ～ 学校でどんなことを学んでいるかを家庭にも知らせ、情報を共有することで学習内容の質の向上を図ることができる。

② ２班「情報モラル教育の充実」… テーマ：情報モラル教育の充実～情報モラル教育の推進 と家庭・地域（小学校）との連携～

ア 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと



- 携帯契約時のフィルタリングをしっかりと行う。学校からも保護者にフィルタリングの重要性を訴えることが大切。両親が「これくらいなら大丈夫」と安易に判断するのではなく、危険性を伝えることが大切である。
- これまでも学校では様々な実態調査を行ってきた。家庭においても、わが子の実態（時間、中身等について）を把握しなければならない。
- 地域活動へ積極的に参加させることによって社会性を育てる。社会のルールを身に付けさせる。
- アウトメディアデーに家庭で行うこと … 家庭の団らん。親子の信頼関係を深めるようなことができるとうい。

イ 学校ができること・行いたいこと

- 啓発活動 … おたより、講演会、学年・学級懇談会における話し合い等。授業（道徳、学級活動等）を通して情報モラルを身に付けさせることが重要。
- これからは、携帯を正しく使える力を身に付けさせる時代になってきている。
トラブル等何かあったときに、家庭においても学校においても、あったことを気軽に話し合えるような信頼関係づくりをしていく必要がある。（トラブルは起きやすいものであるという認識をもつようにしたい。）

③ 3班「体力の向上及び肥満防止」 … テーマ：自己の体力を知り、基礎体力（敏捷性・持久力）の向上に向けて粘り強く努力する生徒の育成～肥満を解消し、生涯を健康的に過ごすために必要な基礎体力を身に付ける～

ア 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと

- 生活・食事の改善（間食を控える、子どもに自分で食事を作らせる…等）
- 車での送迎をできるだけ少なくする → 歩く時間を増やす
 - ・幼稚園では … 車から降りた後は一緒に手を繋いで歩いてくる等
 - ・中学校では … 部活が終わって暗くなってしまう、心配で迎えに来ることが多いが、その分朝早めに（10～15分）起きて、途中からでも歩いて通学させる等送迎の仕方を考えてもらうとうい。
- 地域等の運動をする機会に参加させたり、犬の散歩も含めて体を動かす機会を多くしたりして体力作りに取り組む。
- 家庭で体重測定を定期的に行ってみる。（本人の意識を高めるために）

イ 学校ができること・行いたいこと

- 食育の強化。理想のレシピを配布できればよい。
- 生徒も、自身の運動等を振り返ったり、学級の中で話し合ったりするのもよい。
- 幼・小・中の連携が大事
- 体育の授業を含め、部活動の中で、できるだけ体を動かして体力作りに励むよう仕向ける。
- ノー間食デーとかスポーツウィークとか考えてもよいのではないかな。

④ 4班「地域貢献度の向上」 … テーマ：地域貢献度の向上～親や教員以外の大人など、年代の違う人との交流の場の設定～

ア 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと

- 今後も、生徒の心身の発達のためにスポーツ少年団活動などを継続してほしい。
- 村内の各施設を有効に活用させる。
- 大変なことではあるが、生徒が企画に参加したりできる機会・行事等（例：コミュニティ・フェスタ）を大切にする。
- 地域や保護者にお願いする場合には、できるだけ具体的に伝えてほしい。
- 発信したい内容も含めてなのだが、大玉村は「最も美しい村連合」に入っている。そこで、中学生や住民を全部巻き込んでの村内一斉清掃などを企画すると、いろんなメディアが取材

に来て、美しいものをさらに美しくするために努力しているんだということを発信できるのではないかな。

- 農作業など人手不足の面もある。いろんな形もあるかと思うが、そんな所にも中学生の力を生かせるとよい。
 - 今までも総合的な学習の時間に取り組んできているが、村の特産品を使ったメニューを考え発信して欲しい。
 - 学校には何でも協力したいと思っている。いつでもいいので、気軽に声をかけてほしい。
- イ 学校ができること・行いたいこと
- 子どもたちが地域の行事に参加できるようにする（例 ローテーション、交代等でよい）
 - 生徒に大玉村が県内で一番人口増加率が高いことを知らせたい。ふるさとのいろいろなよさを知ってほしい。
 - 礼儀正しさ、進んだあいさつが地域貢献
大玉中の生徒は、横断歩道で止まってくれた車にきちんとお辞儀ができる子が多い。素晴らしいことである。

⑤ 5班「資質・能力の育成」

対話能力などの「コミュニケーション力」

ア 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと

- 地域で様々な体験をしていくうえで、コミュニケーション力を高めていけるのではないだろうか。様々な年齢層とふれあう（つきあう、関わり合う）こともその一つ。（例 祭り）

- 友達と遊ばせる。

SNSは、今では遊びのツールの一つになっている。ただ、使い方を誤らないようにすること、子ども任せにしないということ。モラル的なことにも十分に注意した上で、子ども同士交流させる機会を増やすことが大切である。

イ 学校ができること・行いたいこと

- 休み時間や授業中の会話を大切にする。
- 学校に地域住民を呼ぶ機会を設定し、地域住民から様々なアドバイスをいただくようにする。（文化祭もチャンスの一つで、終わった後でアドバイスをいただくような時間をつくってはどうか。）
- 中学生の地域貢献活動がコミュニケーション力を高めることにつながる。

「やりぬく力」

ア 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと

- 地域が子どもたちを応援する（地域学校協働活動等）。

地域の人たちは、子どもたちを客観的な目で見ることが出来るよさがある。子どもたちの行動等 unconditional に褒めることもできる。しっかりと頑張っている大人の姿をモデルとして見せて、こんなふうにしたらいいいのかと思えるようにしたい。

イ 学校ができること・行いたいこと

- 学校では、子どもたち一人一人の個性を大切にするよう日々の活動をする。



- 様々な子どもたちにいろんな活躍の場や機会を与える。

「自立心」

ア 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと

- なかなか自分から積極的に出ていけない子については、好きなことをさせることで自信を持たせ、一歩踏み出すきっかけにすることができるのではないかな。（家庭ではそんなことができる。）
- 時間管理等、自分で自分のことをさせる。

イ 学校ができること・行いたいこと

- 学校でも、自分の役割を自分で果たせるように、自分の考えは自分で伝えることができるようにさせる。
- 失敗体験を通して、子どもたちが改善策を練って、その結果「できた！」となれば自立することにつながっていくのではないかな。

「課題を発見する力」

ア 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと

- 不便さを感じさせることで、「どうやってそれをやれるようにするか」というように仕向けていくことで、課題発見力、自立心とかいろいろな資質につながっていくのではないかな。

イ 学校ができること・行いたいこと

- キャリア教育を充実させること。様々な力が身につく、将来のために役立つのではないかな。

（５）講 評

（おおたま学園ＣＳ委員会会長）

様々な熟議を通して有意義な時間を過ごすことができた。これもＣＳの素晴らしさではないかと感じる。このようなよさを明日開かれる本宮市ＣＳ推進フォーラムで話してきたいと思う。本日はありがとうございました。

（６）御礼のことば

（大玉中学校 校長）

難しいテーマをお願いした班もあったが、皆様に和気藹々と協議いただきよかった。いただいたご意見は、取り入れられるものに関しては、すぐにも取り入れていきたいと思う。昨年度から行っている防災無線の活用は、実は昨年度のオープンスクールでのご意見で、実際に文化祭のお誘いを防災無線を使って行ったところ、地域の方々にたくさんお越しいただいた。ぜひ生かしていきたいと考えている。

ところで、先日大玉村健康長寿の会議に学校代表として参加したが、実施する大玉村健康ポイント事業を小・中学生も一緒に行うという話が出ていたので、そういう会議の中でも、今日話し合われたことなどを発信していきたいと思う。本日はありがとうございました。

（７）事務局から

アンケート（感想等）の提出をお願いしたい。

6 閉会のことば

（おおたま学園ＣＳ委員会副会長 大山明美）

以上をもちまして大玉中学校学校運営協議会並びに第４回ＣＳ委員会を終わります。お疲れ様でした。